

未来の子供たちに、よりよい地球環境を。

これは当社が大切にしているスローガンです。50年先も、むしろ今以上に美しく存在し、未来の子供たちを私たち豊田通商グループは、未来の子供たちによりよい地球環境を届ける活動に取り組んでいます。

カーボンニュートラルへの取り組み

廃棄物を再資源化することでモノづくりを支え、循環型社会に貢献

循環型静脈事業とは、従来の廃棄物を適正処理し再資源化する「静脈」を、生産の「動脈」につなげる仕組みを構築化することで、新たな価値を創出するものです。

当社は1970年代から50年にわたり、使用済み自動車の回収・解体、部材や部品の適正処理をすることでリサイクル材料に再資源化する、「循環型静脈事業」に取り組んできました。そして現在では、プラスチック・繊維等の多岐にわたる素材へ、その事業展開を広げています。

豊田通商グループは、全ての廃棄物を資源と捉えることでモノづくりを支え、リユースやリサイクルを基本とした循環型社会を実現し、カーボンニュートラルの達成に貢献していきます。



より良い地球環境を目指して

使用済み自動車の再資源化事業



使用済み自動車を回収・解体し、リサイクル材料に再資源化（豊田メタル㈱）

廃漁網リサイクル事業



千葉県で廃漁網の回収・再生事業を展開するEllange㈱を支援

豊かな環境を未来につなぐ活動



東京本社にて「海洋ごみについて考えよう」写真展と「環境ビジネスについて考えよう」の企画展を開催（豊通ケミプラス㈱ 他）

循環型社会についてはこちらよりご覧いただけます

<https://www.toyota-tsusho.com/company/business/circular-economy.html>



新たな取り組みに挑戦し、共に学ぶ場所「豊通まなぶスクエア」

豊通物流㈱三好第1センターのロビーにある「豊通まなぶスクエア」。ここは、当社サプライチェーン本部の従業員がモビリティの変化を学ぶため、自らの手で分解調査したエンジン車とBEV車の部品が展示されています。



モビリティの電動化議論が加速し、モビリティの部品点数が減少するなどの情報が発信され始めた2019年に、同本部は事業への影響と将来に向けた新たな取り組みを検討する活動の一環として、自らモビリティを分解し変化を学ぶことに挑戦しました。ボルトを外すことに始まり、バッテリーなどの電動車特有の部品を確認するなど、研修を含め長い時間を費やしモビリティの構造の変化を学びました。その過程で得た気づきを関係各所と共有し、モビリティ産業の将来に向けた新たな取り組みに共に挑戦する場を設けたいと考え、社内外の多くの支援を得ながら2020年7月に、「豊通まなぶスクエア」を開設しました。



クイズラリーで豊通まなぶスクエア内を探検中



まなキッズに参加したお子さんたちから届けられたメッセージ

「豊通まなぶスクエア」では、グループ従業員の子供を対象に体験型学習「豊通まなキッズ」を毎年開催しています。2024年は7月下旬に開催し、体験ゲームなどを通して、モビリティの変化や楽しさ、そして地球環境の課題を伝え、これらに対する新たな取り組みとその役割を担う豊田通商グループの仕事について、親子で楽しく学んでもらいました。

豊田通商グループは、事業からの学びを重ね、地域社会との共有も進めながら、これからも未来の子供たちにより良い地球環境を届けることを目指し、挑戦を続けていきます。

豊通まなぶスクエアのウェブサイトはこちらよりご覧いただけます

<https://www.manabusquare.com/>

